

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	歯科衛生学科の将来構想につなぐ教育改革の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授 学科代表	氏名	吉田 直樹
	研究分担者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授	氏名	野口 有紀
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授	氏名	仲井 雪絵
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・准教授	氏名	長谷 由紀子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	山本 智美
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	森野 智子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	松原 ちあき
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	中村 和美
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	藤田 美枝子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	鈴木 桂子
	発表者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授 学科代表	氏名	吉田 直樹

講演題目	歯科衛生士国家試験出題基準の改定と授業内容について
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>短期大学部歯科衛生学科では、学生は卒業することによって、歯科衛生士国家試験の受験資格が得られる。したがって、3年間のカリキュラムにおいて、学生へは、国家試験に合格することができるための十分な学力を得られるような教育を提供することを保証しなければならない。</p> <p>令和3年3月に、令和4年度歯科衛生士国家試験出題基準が改定された。平成29年3月から、5年ぶりであった。出題基準として、以下の6項目に関して、更なる充実を図るとされている。1. 時代の要請に応える歯科衛生士を確保する観点から、高齢者等による疾病構造の変化に伴う歯科診療の変化に関連した、歯科衛生士として必要な高齢者や住宅・施設介護や病棟での対応に関する出題。2. 地域包括ケアシステムの推進や多職種連携等に関する出題。3. 口腔機能の維持・向上や摂食機能障害への対応に関する出題。4. 医療安全や職業倫理に関する出題。5. 周術期等口腔機能管理に関する出題。6. 医療のグローバル化に伴い歯科衛生士としての国際貢献を踏まえた国際保健に関する出題。の6項目である。</p> <p>学科教員は、年々変化する歯科保健医療等の環境に対応した教育を常に行うことができなければならない。教員が、最新の情報を、関連の学会や協議会、論文、書籍から得ることができ、それを即、学生教育へ反映できる環境を整備し続けていくことが重要である。</p>